

タイ法人 ～ASEAN to Global!～



President & CEO
大越 浩一

■ ごあいさつ

当社は2018年3月にToyota Tsusho Electronics ThailandとTOMEN Electronics Thailandが合併し、TOYOTA TSUSHO NEXTY ELECTRONICS THAILANDとして再スタートを切りました。事業内容は、1) 車載向け組み込みソフト開発、2) 電子部品、半導体の販売とシステム開発、3) ITSテレマティクス向けコンテンツの3つです。

約270名(2018年4月1日現在)の社員が、ソフト開発を中心に、ハード設計、コンテンツ開発、データ解析業務等に携わっています。合併前より10年以上の実績があり、タイ国内はじめ、ASEANのみならずグローバル規模で事業展開しております。車載向けソフト開発ではMBD(モデルベース開発)を得意としモーター制御やエンジン制御ソフトの開発、また急速に市場が立ち上がりつつあるコネクティッド関連システム向けソフト開発に注力しています。ハードのビジネスでは豊富な商材とシステム提案力を武器にお客様の製品開発をサポート。コンテンツビジネスではタクシーやトラックプローブをもとにタイ全土の渋滞情報を生成販売しております。人々の移動(モビリティ)をより便利にまた楽しくすべく社員一同頑張っております。

■ 基本情報

社 名：TOYOTA TSUSHO
NEXTY ELECTRONICS
(THAILAND) CO.,LTD
住 所：15th-16th Floor, Mercury
Tower, 540 Ploenchit Road
Lumpini, Pathumwan, Bangkok
10330 Thailand
連 絡 先：TEL: 66-2-639-3500
FAX: 66-2-639-3501
資 本 金：タイバーツ 32,000,000
設 立：2005年4月
従業員数：276人(2018年4月)

■ 特長・強み

ソフト、デバイス、コンテンツという3つの事業が存在することで、これらを融合することで新たなビジネスチャンスを創出できることが強みです。

1) 車載向け組み込みソフト開発

ソフト事業開発エンジニアの6割がMBD開発エンジニアであり、車載組込み開発会社としては、競争優位です。また、これらのエンジニアの多くが日本語を使って業務遂行が可能であると同時に、ゼロレベルからでも日本語を使って業務ができるレベルにまで引き上げられる内製での日本語教育のノウハウ、タイのトップレベル校との連携により優秀なエンジニアの卵を確実に採用し、社内で育成する仕組みを持つ事も大きな強みです。

2) 電子部品、半導体の販売とシステム開発

在タイエレクトロニクス商社における当社の強み

- ① 基板設計力とソフト連携による先行開発機能の保有
- ② エレクトロニクス商材販売で20年超の経験を持つ現地営業スタッフ陣
- ③ 商材に付加価値と顧客に安心感を与える品質機能「TAQS ASIA」
- ④ 150社を超える顧客基盤

3) ITSテレマティクス向けコンテンツ

コンテンツ事業においては最新のテクノロジーを持ち、IoT領域、自動運転等のコネクティッド関連領域へのビジネス構築ができるリソースを保有していることも強みです。

■ 拠点の活動内容紹介

当社はソフト事業(車載用組込みソフト開発)、デバイス事業(車載・民生用電子部品販売)、コンテンツ事業(交通情報配信サービス)を主に事業を行っており、ネクスティグループ内では3事業を柱とする稀有な存在です。

1) 車載向け組み込みソフト開発

2012年よりFusion(融合)をキーワードにこれらの事業または他社、グループ会社間のシナジーを積極的にを行い、新たな事業の創出、価値の創造を常に意識し、事業活動を行っています。

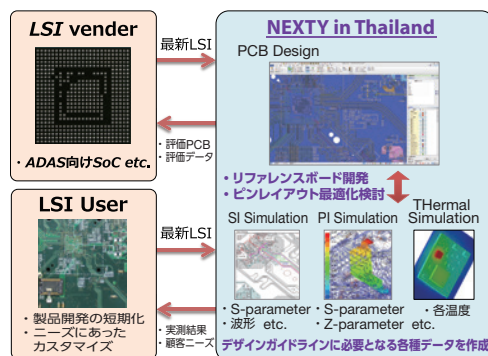
シナジーの一例として、当社ソフト事業とデバイス事業は現在、自動車向けカメラモジュールの開発を行っています。

2016年には株式会社デンソーとの合併会社(TOYOTA TSUSHO DENSO ELECTRONICS THAILAND社)を設立しました。この会社は車載エンジンに特化した組込みソフトウェア開発会社です。「タイから未来を切り拓く」という熱い思いを会社のロゴに込め、タイからソフトウェアテクノロジーで世界をリードする会社をめざし日々精進しています。



2) 電子部品、半導体の販売とシステム開発

タイ国内における当社デバイス事業の売上高はエレクトロニクス商社としては欧米系外資含めて最大規模です。2005年の設立以来13年間、車載、民生、ローカル企業あわせて計150社超のお客様と取引を維持・拡大してきました。タイといえば世界の工場集積地であり、バリューチェーンの「川下」の位置づけですが、技術先進国へ飛躍することを目指して、タイ政府は外資企業のR&D、要素技術開発拠点の積極的誘致を進めています。また、東南アジア+インド市場のニーズ取り込み・スピード開発という視点から、開発拠点をタイに持つ外資企業が着実に増加しています。事業規模、豊富な開発・営業人材、尖った技術・品質機能をフル活用し、「アジア+インド」におけるテクノロジーリーダーとして、他社に先行して「川上」分野の開拓に今年度から一層注力していきます。デバイス事業が目指す姿は、「川上から川下まで全領域」において、技術と目利き力を武器に市場開拓し、周辺国、そして日本へ新たなトレンドを輸出する、付加価値を生み続ける「タイ法人」です。

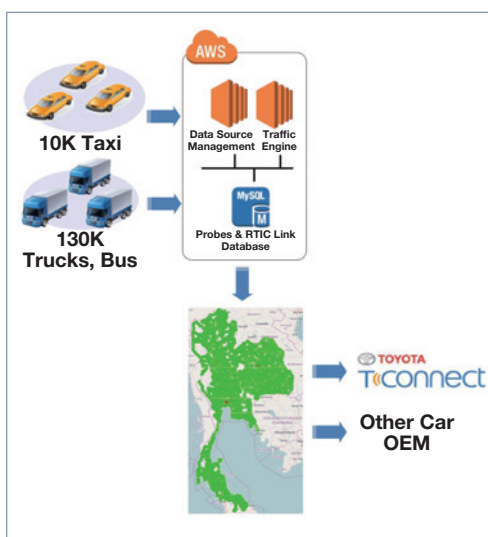


3) ITSテレマティクス向けコンテンツ

2013年よりローンチした渋滞情報配信サービス品質向上、その他付加価値の高い情報開発(動的情報:事故・イベント情報)に取り組んでいます。昨今の渋滞情報の品質向上の取組は、「みちびき衛星」の活用により、車線毎の渋滞情報開発を実施し、バンコク都内にて実証実験を行いました。また、その他付加価値の高い情報開発においては駐車場・渋滞予測・マルチドロップといった動的コンテンツの開発を行いました。

ビッグデータ解析の業務が近年拡大しています。2016年よりデータ解析エンジンの開発を強化し、画像処理・データレコメンデーション開発にも取組み、データ解析を用いた車両管理・予測メンテナンスシステムの協議を自動車メーカーや配車サービスプロバイダーと行っています。加えて、交通渋滞情報の解析技術を基に量子コンピューティングを用いた解析処理技術の協同開発を豊田通商株式会社、株式会社デンソー、カナダD-Wave System Inc.と取り組んでいます。

今後は渋滞情報配信サービスを軸に、当社で手の内化したデータ解析の要素技術を「集結」し、「データトレーダー(Data Trader)」として付加価値データを提供する事業を目指します。自動運転への適用だけでなく、物流業界の配送トラック車両管理やテレマティクス保険への拡大を狙います。



地域的特長

自動車産業が発展している中、インド、中国のような巨大マーケットと異なり、優秀な技術者の獲得が比較的容易です。また、親日国ということもあり、タイ人と日本人の関係構築も良好のため組織運営がスムーズです。大学の教育レベルの年々良くなっており、新卒採用をしても、即戦力となり得る若手が10年前と比較し、多くなった印象を受けます。

オープンハウス活動

年に数回、外部の学生や教授を招いて、当社について理解してもらおうオープンハウス活動を行っています。



オープンハウスに参加した学生と教授の皆さん

お勤め情報

ゴルフにつきると思います！日本よりも比較的安価でプレーができ、ゴルフ好きには天国だと思います。また、美味しい日本食が充実しています。食事に困ることはありません。一瞬海外に住んでいることを忘れてしまいます。

タイに出張された方が口々に言われるのが、イタリアンが美味しいということでしょうか。日本食、イタリアンは会食の定番ですね。



ゴルフ好きの方にはおすすめです